地域包括支援センターだより

郡上市地域包括支援センター

認知症とともに誰もが安心して参加できる

認知症カフェとは

認知症カフェは「認知症の人と家族、地域住民、医療やケアの専門家等の誰もが安心して参加でき、和やかな雰囲気のもとで仲間づくりや情報交換を行う場」のことです。

市内開催中の認知症カフェ（良良カフェ）のご紹介

住民運営の複合型カフェ「Caféはるこま」

今回ご紹介するのは、八幡町で開催されている「Caféはるこま」です。

「Caféはるこま」は、認知症の人や家族だけでなく地域のみなさんや専門職が「一緒に楽しみ」「一緒に学び」「お互いさまと支え合える」事を目的に運営をされているカフェです。運営者のみなさんに開催への想いなどをインタビューしました。

開催のきっかけは？

認知症について本人や家族、地域の人たちが集まり、気軽に相談できる場所を作りたいと考えていました。

また、認知症を地域の人たちと共に学び正しく理解し、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生きていく事ができる地域を作りたいというスタッフ全員の思いがつながり、カフェを立ち上げました。

「Caféはるこま」の由来は？

郡上のみなさんが笑顔で幸せに暮らす未来を目指したいと思い、明るく、楽しい曲であり、誰もが踊り馴染み深い郡上おどりの曲名「はるこま」をカフェの名前にしました。

カフェではどのようなことをしますか？

辛い事、困っている事、自分の想いなど、お茶を飲みながら気軽に話し合い、相談していただけます。イベントや認知症について学ぶ機会もあります。

「自分が通いたいカフェはこういう所」という思いをお互い話しながら、参加されるみなさんと一緒にカフェを作っていきたいと思っています。

市民のみなさんへメッセージをお願いします

認知症に対する考え方は「何もできない人・何もわからなくなる人」から「できる事はたくさんある人」に変わってきています。そのために、認知症を正しく理解し、早くから対応していく事が大切です。

気軽にのぞいてみてください。『私も一緒に』と思う人、大歓迎です。一緒に楽しみましょう！

♪七両三分のはるこま！はるこま！〝みんなで楽しまんかな！あんきにきとくれ〟♪

『Caféはるこま』
毎月第3水曜日
午後1時30分～3時
参加費：100円
会場：郡上八幡南部コミュニティ消防センター（八幡町大正町54）
参加方法：予約不要
直接会場へお越しください。

問 健康福祉部高齢福祉課 地域包括支援センター 67・0008

令和7年度 宝くじの助成金により福田公民館の備品（エアコン）を整備

市では、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業」を活用しています。令和7年度は、大和町の福田自治会が公民館のエアコンを整備しました。

問 大和振興課 88－2211

広告

郡上八幡駅舎前マルシェ
青空小店 AOZORA OMISE
毎月／第4土曜 朝9～11時
※12月は第3土曜開催／1月2月は休み
朝採れ野菜・パン・スイーツ・和菓子
ハンドメイドグッズ・おにぎり
フランク等など勢ぞろい！！
随時 出店者募集中！
GUJOHACHIMAN.EKISHA.CAFE
郡上八幡駅舎カフェ お問合せ：(0575) 67-9039